



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月31日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ドウシシャ
コード番号 7483 URL <https://www.doshisha.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO 兼 COO (氏名) 野村 正幸
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 常務執行役員 (財務経
理、貿易業務、業務管理担当役員) (氏名) 松本 崇裕 TEL 06-6121-5669
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	26,362	△1.1	2,517	13.8	2,596	9.9	1,738	9.3
2023年3月期第1四半期	26,655	4.8	2,212	△10.8	2,363	△10.5	1,590	△10.4

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 2,860百万円 (35.1%) 2023年3月期第1四半期 2,117百万円 (31.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第1四半期	円 銭 50.93	円 銭 50.43
2023年3月期第1四半期	46.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	99,167	81,204	80.2	2,328.54
2023年3月期	98,188	79,704	79.4	2,283.42

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 79,498百万円 2023年3月期 77,958百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	30.00	—	35.00	65.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	35.00	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	53,500	2.1	4,080	6.3	4,080	3.2	2,750	4.1	80.55
通期	111,000	5.0	9,000	11.8	9,000	7.9	6,100	8.5	178.67

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	37,375,636株	2023年3月期	37,375,636株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	3,234,699株	2023年3月期	3,234,655株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	34,140,959株	2023年3月期1Q	34,348,112株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、2023年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が見直され、経済活動が正常化に向かいつつあります。その一方、食料品や生活用品の継続的な値上げにより、家計への負担は増しており、消費に対する先行き不透明な状況は続いております。

そのような状況の下、当社グループとしましては2022年5月に公表いたしました「ドウシシャグループ中期経営計画」の2期目に入り、その達成に向けた各種取り組みを実施しております。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高26,362百万円(前年同期比98.9%)、売上総利益7,893百万円(前年同期比105.9%)、販売費及び一般管理費5,375百万円(前年同期比102.5%)、営業利益2,517百万円(前年同期比113.8%)、経常利益2,596百万円(前年同期比109.9%)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,738百万円(前年同期比109.3%)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

「開発型ビジネスモデル」

食品関連では、食料品の値上げが続くなか、均一価格ショップやディスカウント・ストア向けのOEM企画商品が、相対的な値ごろ感から導入商品を拡大し、好調な販売となりました。

また、夏シーズンに向けて、雑貨関連においてクールネックバンドなど冷感グッズの販売が伸長しました。

その結果、当セグメントの売上高は13,951百万円(前年同期比103.2%)、セグメント利益1,532百万円(前年同期比161.7%)となりました。

「卸売型ビジネスモデル」

有名ブランド関連では、食料品や生活用品の値上げで家計への負担が増えるなか、ファミリー層を中心に、ブランドバッグやブランド時計への支出が鈍り、販売が前年同期を下回る結果となりました。

ギフト関連では、経済活動の再開に伴い、当社が強みを持つ手渡し用ギフトの販売が伸長しているほか、外国人観光客向けに商品企画した日本菓子詰め合わせセットなどが好評でした。

ブランドスイーツについては、2021年10月から大丸東京店にて「T. D. E a r l y」の常設店舗を設けているほか、2023年2月からは、さつま芋を使ったスイーツブランド「O I M O M E R C I (オイモメルシー)」を展開しており、当第1四半期においては、大丸東京店、アトレ恵比寿、東武百貨店池袋本店(いずれも東京都)、阪急百貨店うめだ本店(大阪府)にて期間限定で出店し、好評な販売となりました。

アミューズメント関連では、ゲームセンターやアミューズメント施設向けの景品として、人気ゲームのキャラクター商品の販売が好調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は11,419百万円(前年同期比96.8%)、セグメント利益1,119百万円(前年同期比85.3%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は77,020百万円となり、前連結会計年度末(75,796百万円)に比べ1,224百万円増加いたしました。これは主に、受取手形91百万円、売掛金2,467百万円、電子記録債権596百万円、商品及び製品1,536百万円、その他817百万円の増加及び、現金及び預金4,284百万円の減少によるものであります。

固定資産は22,147百万円となり、前連結会計年度末(22,392百万円)に比べ244百万円減少いたしました。これは主に、無形固定資産140百万円、投資有価証券73百万円の増加及び、建物及び構築物(純額)67百万円、繰延税金資産431百万円の減少によるものであります。

この結果、総資産は、99,167百万円となり、前連結会計年度末(98,188百万円)に比べ979百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は16,833百万円となり、前連結会計年度末(10,800百万円)に比べ6,032百万円増加いたしました。これは主に、買掛金227百万円、1年内返済予定の長期借入金6,600百万円の増加及び、未払法人税等693百万円、役員賞与引当金44百万円、その他55百万円の減少によるものであります。

固定負債は1,129百万円となり、前連結会計年度末(7,683百万円)に比べ6,554百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金6,600百万円の減少によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は81,204百万円となり、前連結会計年度末(79,704百万円)に比べ1,500百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益1,738百万円、繰延ヘッジ損益870百万円、為替換算調整勘定87百万円の増加及び剰余金の配当1,194百万円による減少によるものであります。

この結果、自己資本比率は、80.2%(前連結会計年度は79.4%)となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は47,355百万円となり、前連結会計年度末より5,284百万円減少いたしました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果減少した資金は2,776百万円(前年同期は2,744百万円の減少)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2,596百万円、減価償却費192百万円、仕入債務の増加額198百万円、未払消費税等の増加額251百万円、その他の流動負債の増加額87百万円による増加及び売上債権の増加額3,124百万円、棚卸資産の増加額1,531百万円、その他の流動資産の増加額59百万円、法人税等の支払額1,402百万円による減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は1,229百万円(前年同期は60百万円の減少)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出1,000百万円、有形固定資産の取得による支出50百万円、無形固定資産の取得による支出173百万円による減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は1,412百万円(前年同期は1,696百万円の減少)となりました。これは主に、配当金の支払額1,166百万円、非支配株主への配当金の支払額210百万円による減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月10日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	52,639	48,355
受取手形	255	346
売掛金	13,015	15,482
電子記録債権	1,196	1,792
商品及び製品	7,896	9,432
短期貸付金	12	12
その他	780	1,597
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	75,796	77,020
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,882	13,910
減価償却累計額	△5,781	△5,877
建物及び構築物(純額)	8,100	8,033
土地	9,385	9,385
建設仮勘定	13	—
その他	3,230	3,352
減価償却累計額	△2,463	△2,528
その他(純額)	767	823
有形固定資産合計	18,266	18,242
無形固定資産	354	495
投資その他の資産		
投資有価証券	2,200	2,274
長期貸付金	7	4
繰延税金資産	452	20
その他	1,118	1,117
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	3,771	3,409
固定資産合計	22,392	22,147
資産合計	98,188	99,167
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,047	6,274
1年内返済予定の長期借入金	—	6,600
未払法人税等	1,530	837
役員賞与引当金	63	19
賞与引当金	5	4
その他	3,152	3,097
流動負債合計	10,800	16,833
固定負債		
長期借入金	6,600	—
退職給付に係る負債	677	684
資産除去債務	10	10
その他	396	434
固定負債合計	7,683	1,129
負債合計	18,484	17,963

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,993	4,993
資本剰余金	6,273	6,273
利益剰余金	71,614	72,157
自己株式	△5,105	△5,105
株主資本合計	77,775	78,319
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	232	268
繰延ヘッジ損益	△270	599
為替換算調整勘定	245	332
退職給付に係る調整累計額	△24	△21
その他の包括利益累計額合計	182	1,179
新株予約権	135	180
非支配株主持分	1,610	1,526
純資産合計	79,704	81,204
負債純資産合計	98,188	99,167

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	26,655	26,362
売上原価	19,199	18,469
売上総利益	7,456	7,893
販売費及び一般管理費	5,244	5,375
営業利益	2,212	2,517
営業外収益		
受取利息	0	12
受取配当金	25	27
為替差益	105	13
助成金収入	3	—
その他	21	31
営業外収益合計	157	84
営業外費用		
支払利息	1	1
支払手数料	1	0
その他	3	3
営業外費用合計	6	5
経常利益	2,363	2,596
税金等調整前四半期純利益	2,363	2,596
法人税、住民税及び事業税	690	763
法人税等調整額	28	50
法人税等合計	719	813
四半期純利益	1,643	1,782
非支配株主に帰属する四半期純利益	52	44
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,590	1,738

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,643	1,782
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44	35
繰延ヘッジ損益	228	870
為替換算調整勘定	199	168
退職給付に係る調整額	2	2
その他の包括利益合計	474	1,077
四半期包括利益	2,117	2,860
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,950	2,735
非支配株主に係る四半期包括利益	166	125

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,363	2,596
減価償却費	182	192
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△41	△44
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1	△1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	8	11
株式報酬費用	—	45
助成金収入	△3	—
受取利息及び受取配当金	△26	△39
支払利息	1	1
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,880	△3,124
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,252	△1,531
仕入債務の増減額 (△は減少)	797	198
未払消費税等の増減額 (△は減少)	173	251
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△88	△59
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	109	87
その他	4	4
小計	△1,656	△1,411
利息及び配当金の受取額	26	39
利息の支払額	△2	△2
法人税等の支払額	△1,116	△1,402
助成金の受取額	3	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,744	△2,776
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△1,000
有形固定資産の取得による支出	△50	△50
無形固定資産の取得による支出	△4	△173
投資有価証券の取得による支出	△7	△6
貸付金の回収による収入	3	3
その他の支出	△3	△1
その他の収入	2	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△60	△1,229
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△646	△0
リース債務の返済による支出	△39	△36
配当金の支払額	△1,011	△1,166
非支配株主への配当金の支払額	—	△210
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,696	△1,412
現金及び現金同等物に係る換算差額	103	134
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,398	△5,284
現金及び現金同等物の期首残高	48,581	52,639
現金及び現金同等物の四半期末残高	44,183	47,355

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	開発型 ビジネスモデル	卸売型 ビジネスモデル	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	13,512	11,796	25,309	1,308	26,617	—	26,617
その他の収益	—	—	—	37	37	—	37
外部顧客への売上高	13,512	11,796	25,309	1,346	26,655	—	26,655
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	2,364	2,364	△2,364	—
計	13,512	11,796	25,309	3,710	29,020	△2,364	26,655
セグメント利益	947	1,312	2,260	242	2,502	△290	2,212

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産事業、物流事業、介護福祉事業、P S 事業及び海外子会社等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△290百万円は、セグメント間取引の消去△78百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△95百万円及びその他調整額△116百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	開発型 ビジネスモデル	卸売型 ビジネスモデル	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	13,951	11,419	25,370	957	26,327	—	26,327
その他の収益	—	—	—	34	34	—	34
外部顧客への売上高	13,951	11,419	25,370	992	26,362	—	26,362
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	2,082	2,082	△2,082	—
計	13,951	11,419	25,370	3,075	28,445	△2,082	26,362
セグメント利益	1,532	1,119	2,652	195	2,847	△329	2,517

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産事業、物流事業、介護福祉事業、P S 事業及び海外子会社等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△329百万円は、セグメント間取引の消去15百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△111百万円及びその他調整額△234百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。